

**「リスクマネジメント研修」基本編
参加者アンケート
8会場の集計・報告書**

熊本、長岡、仙台、静岡、名古屋、京都、岡山、札幌

平成25年1月17日

子ども農山漁村交流プロジェクト研究会
法務・安全部門対策会議 事務局

アンケート回収の総括・事務局報告

「リスクマネジメント研修」基本編の実施において

この研修において、私たちが目指したことは次の8項目でした。

- ①リスクを正しく知ることの必要性
 - ②子どもは大人が予測しえない行動をとる！だから子どもを見失わないことの重要性
 - ③体験活動におけるリスクマネジメントの基本的な考え方
 - ④リスクの気づきと対策の必要性
 - ⑤安全管理マニュアルを作り続けることの必然性
 - ⑥関係者全員が参加しての実地踏査をする意義
 - ⑦体験送出し側の学校・教師側、各受入側協議会関係者及び、行政関係者の取り組み意義
 - ⑧これらの理解と浸透を図ること
- 以上。

結果は、参加者は8会場合計で約300名、アンケートの回収数234名の78%。
講義の評価については、全員が参考になった又はとても参考になったとの回答を得ることができました。

参考になった講義については、ばらつきがあったものの大半の参加者が講義項目ごとに講師が変わり、メリハリがあってとても良かった。

「安全管理マニュアル作成のポイント Q&A」のテキストと共にそれらを解説する資料を提供していただき、それぞれ具体的な内容で非常にわかりやすかったとの回答を得ることができました。

特に早川会長(弁護士)による「事故事例分析」の講義が判例の説明ということもあり、非常に高い評価でした。

また上級編においては基本編終了後、会場においてすぐに申し込む人や受入協議会の主たるメンバー全員が上級編受講の希望があり、定員を上回る状況となりました。

このことは参加者の安全取り組み意識の高さ、ひいては本プロジェクト継続への期待感の表れと改めて感じました。

ただ残念だったのは、全国8会場という限られた都市での開催には、参加者のアクセスが4時間以上かけてきた、ぜひ聞きたかったので早朝4時起きで来た。これから帰宅すると深夜になるなどの不満の声が多数あり、次回の実施は是非わが県、わが町でしてほしいとの要望があったこと。その方たちにとっては講義時間が長いとの評価が気になりました。

一方、講師陣においては説明時間が短く駆け足気味になった。

あと少し時間あったら、この技を伝えることができたのに、、、との反省点もありました。

これらの評価・反省点を踏まえて以下の「リスクマネジメント研修」基本編アンケート結果報告を申し上げます。

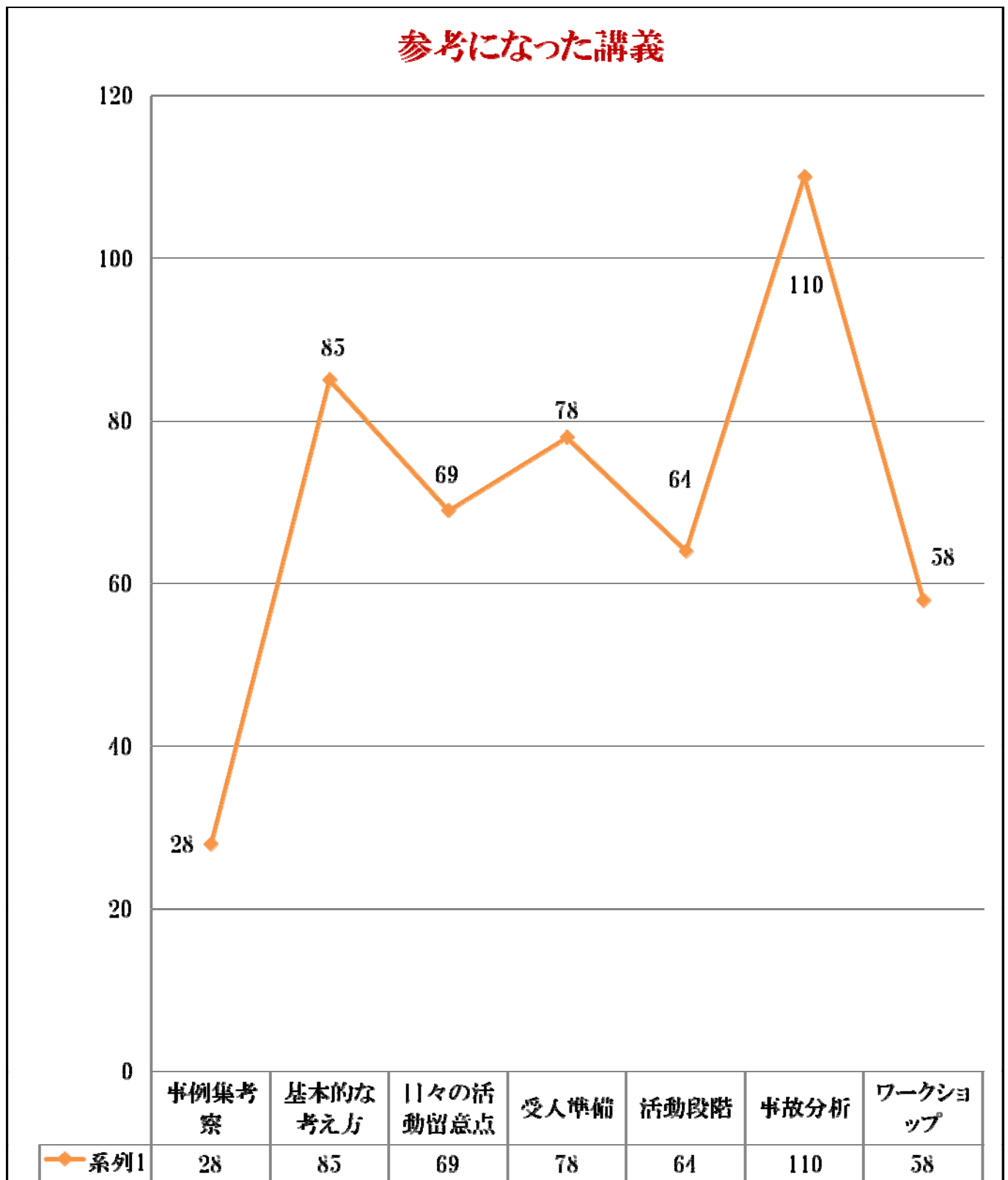
平成25年1月17日

子ども農山漁村交流プロジェクト研究会
法務・安全部門対策会議 事務局

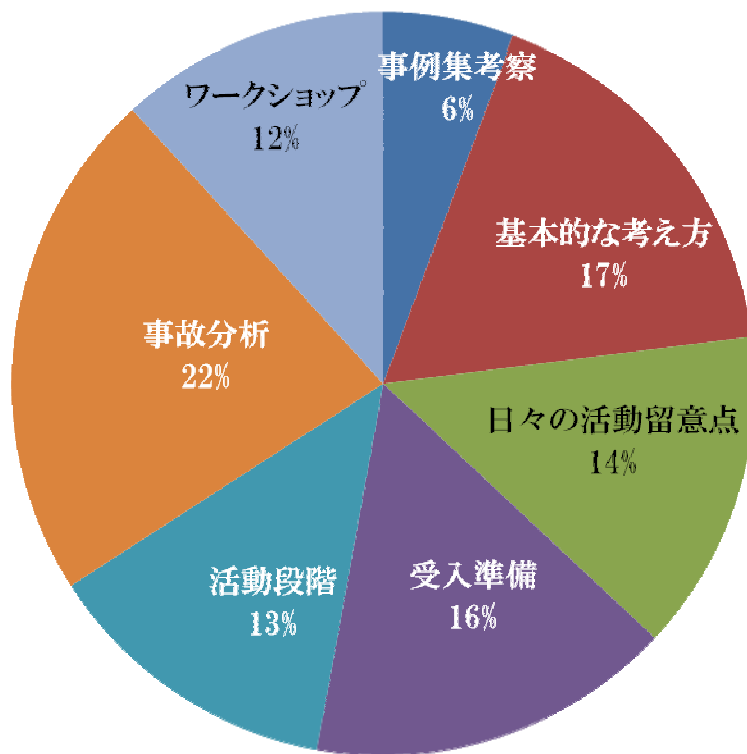
リスクマネジメント8会場回答数基本データ

開催地	熊本	長岡	仙台	静岡	名古屋	京都	岡山	札幌	総回収数
回収数	31	45	38	25	26	36	16	17	234
参考になった講義	事例集参考	基本的な考え方	日々の活動留意点	受入準備	活動段階	事件事例分析	ワークショップ	総数	
回答数	28	85	69	78	64	110	58	492	
講義時間バランス	ちょうど良い	長い	短い	短すぎる	長すぎる	総数			
回答数	160	42	28	2	2	234			
講義の評価	とても参考になった	参考になった	参考にならなかった	総数					
回答数	147	87	0	234					
講義費用の自己負担目安	3千円～5千円	千円～3千円	5千円～1万円	1万～2万円	2万～3万円	総数			
回答数	96	65	47	19	7	234			

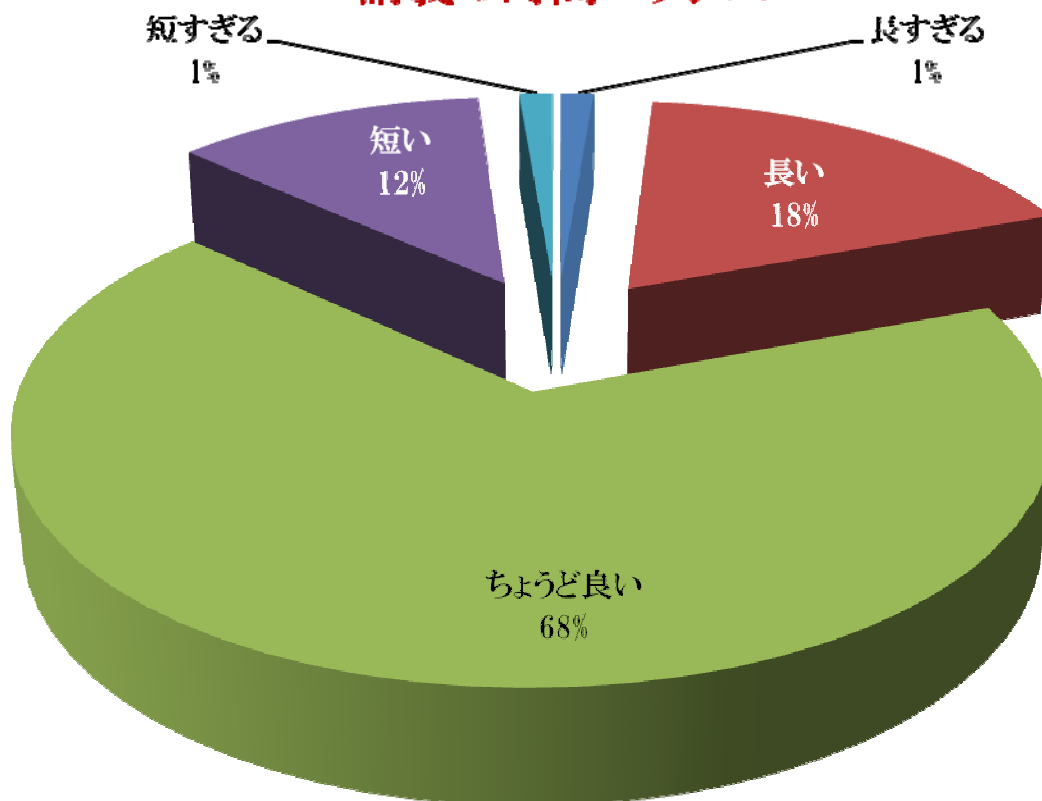
リスクマネジメント研修基本編アンケート8会場集計



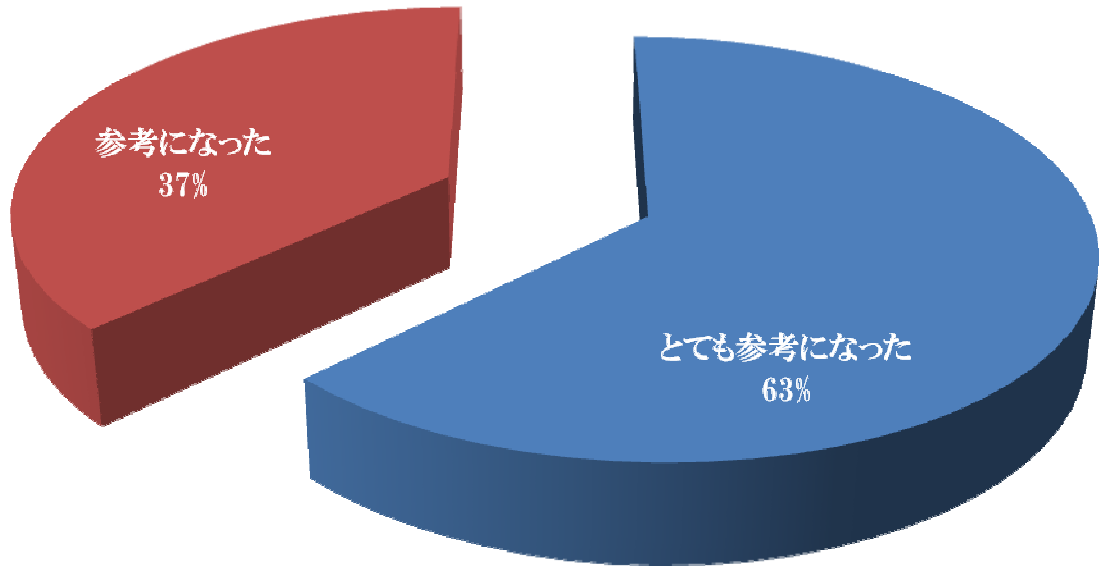
参考になった講義の割合



講義の時間バランス



講義の評価



講義の自己費用目安

